

～黄瀬川太鼓創立四十五周年を迎えて～

世話人代表 森田 紀



【黄瀬川太鼓】はお陰様で本年、創立四十五周年を迎えました。これも偏に地域の皆さんの温かいご支援の賜と深く感謝をしております。

これまで様々な場所で演奏活動が続けてまいりましたが特に韓国訪問『日韓民俗芸能競演』や『長野冬季オリンピック』出演は印象深いものとなっています。また、大岡小・南小の両校での太鼓指導も三十数年続き、子供たちとの交流も良い思い出です。

しかし、ここ数年のコロナ禍により新規会員募集や練習が途絶え、この間に子供たちはそれぞれ卒業して太鼓存続の危機になり、この危機に自治会有志が集まり郷土芸能として県内外にも一応の評価を頂き実績も作ってきた【黄瀬川太鼓】を地元の文化財として保護育成に努めることとし太鼓など楽器類すべてを自治会に寄贈し自治会の管理の下、再出発が決まり、コロナ禍の経験から先ず大人のチームを作り次に子供たちの育成に努めることになりました。

黄瀬川太鼓からは三名のプロ和太鼓奏者が誕生していますが、その中で第一号のプロとなり東京で活躍中の【土屋智明】氏が支援を申し出てくれました。

土屋氏(大岡中 平成二年度卒業)は幼稚園時代から姉の太鼓の練習と一緒に参加し中心プレーヤーとして活躍、高校卒業と同時に上京。そして、和太鼓アーティスト『大塚宝』氏に師事、大塚宝氏のもと、東京ドーム、京セラドーム、さいたまスーパーアリーナなどでのイベントや海外での演奏とその活動の場を広げてきました。

また、大塚宝氏主催の和太鼓教室『宝塾』にて約 10 年間後進の育成にもつとめ、大塚宝氏より独立後は個人のライブ、イベント、パーティ等の演奏活動を本格化しました。

また、ピアノ、バイオリンなどの洋楽器に和太鼓を加えた五人組バンド『Lechiacchie』や和太鼓、笛、三味線などの邦楽器とギター、ベースなどの和洋混成ロックバンド『音ノ葉』にも参加し、和太鼓や日本文化の素晴らしさ・奥深さを伝えるべく頑張っています。

土屋氏は多忙の中、東京から駆けつけ練習や本番の支援に努めてくれています。早く交通費だけでもお渡し出来ればと願っているところです。

黄瀬川太鼓の演奏



土屋智明氏の
演奏&トーク

